

まちの話題

▶ 迫力満点！「回せ」の合図で回転させる提灯山



第67回多久山笠が、8月15日・16日の2日間、多久駅北側道路を歩行者天国にして開催され、この日を待ちわびた多くの人で賑わいました。

多久山笠若衆会による提灯山車の組立競争で幕をあげ、提灯山車2基、人形山車2基が多久の真夏の夜を彩りました。

提灯山の組立競争では、「ヨイトサー、ヨイトサー」の掛け声の中、素早く組み上げる様子に、来場者からは大きな拍手が送られていました。

その後、提灯山は多久駅前通りを、大きく蛇行しながら練り歩き、多久駅前正面では爆竹の音が響き渡る中、提灯山をコマのように素早く回転させるなど、勇壮で迫力満点の曳き回しを披露し、来場者を魅了していました。

戦国絵巻を再現した色鮮やかな人形山車は、地元子ども達が笛と太鼓が奏でる囃子にあわせ「エンヤー、エンヤー」と掛け声をかけながら、ゆっくりと巡行し、来場者を楽しませていました。

16日は、雨が降る中、花火などの中止も心配されましたが、無事すべてのプログラムが行われ、色鮮やかな花火がフィナーレを飾りました。

▶ 800発の花火が多久の夜空を美しく彩りました



多久のお盆の風物詩、多久山笠が来場者を魅了！

▶ 会場には大勢の人が集まり「たく夏フェス」を満喫していました



8月8日・9日、あいぱれっとオープン1周年を記念して「たく夏フェス2015&よって見んしゃい！軽トラ市多久」が行われました。

8日の前夜祭では、音楽ライブやペア抽選会、屋上ビアガーデンが行われ、来場者は真夏のひとときを満喫しました。

9日に行われた開会式では、一般社団法人たぐく藤川範史代表理事が「皆さまのお陰で1周年を迎えることができました。この広場が多久市民の活性化に向けた発信地になることを願います」とあいさつ。

東部太鼓保存会の迎え太鼓や多久ちんどん芸能隊、ヒーローショーなど、さまざまな催しで会場は賑わいました。

また、会場内では、同日開催でハピたく主催の「親子で夏休みを楽しもう」やゆるふわ堂主催の「匠のマイスター」などが行われ、来場者はアトラクションやマルシェを楽しみました。

真夏の太陽が照りつけるあいぱれっと駐車場では「よって見んしゃい！軽トラ市多久」が盛大に開催され、たくさんの買い物客で賑わいました。

▶ 「よって見んしゃい！軽トラ市多久」の様子。真夏の炎天下にもかかわらず多くの人が買い物をしました



祝！あいぱれっと1周年

「たく夏フェス2015&よって見んしゃい！軽トラ市多久」

8/17 Mon.

荷物配りは心配り



多久市とヤマト運輸佐賀主管支店は地域における見守り活動に関する協定を締結しました。この協定は、一人暮らしの高齢者など支援が必要な人の異変を早期に発見し、行政や医療機関などに連絡していただくなど見守り支援体制の強化を目的に締結したものです。

同社は、見守り支援活動に約5年前から取り組み、全国で100件以上の協定締結の実績があり、県内では嬉野市に次ぐ2例目となります。

春山亮太佐賀主管支店長は「宅急便のネットワークが強みです。ドライバーは地域に密着しており、この協定を機に安心・安全を含め地域に貢献していきたい」と語りました。

8/11 Tue.

夏休み 事故なく元気に 2 学期へ



交通事故にあわないための心構えやルール・マナーを児童が学ぶ交通安全教室を中央校なかよしクラブで開催しました。

小城警察署交通課の石隈智彦交通指導係長による「自転車に乗る時は必ずヘルメットをかぶる。道路を横断するときは落ち着いて左右確認をする」などの講話を児童は真剣な眼差しで聞いていました。

その後、パトカーや白バイの体験乗車があり、みんな「乗りたい」と大はしゃぎ。順番待ちの列ができました。児童は「交通安全について色々知れて良かった」、「パトカーの中が見れて楽しかった」などと感想を語りました。

市内3校のなかよしクラブ対象の交通安全教室は、夏休み中に4回開催、合計178人が参加しました。